

令和元年9月定例会 経済委員会（付託）

令和元年9月30日（月）

〔委員会の概要 労働委員会関係〕

元木委員長

ただいまから、経済委員会を開会いたします。（10時34分）

直ちに、議事に入ります。

まず、労働委員会関係の調査を行います。

労働委員会関係の付託議案はありませんが、この際、報告事項があれば、これを受けることといたします。

相田労働委員会事務局長

報告事項はございません。どうぞよろしくお願いたします。

元木委員長

それでは、これより質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

黒崎委員

私のほうから1点だけ、ちょっと確認の意味も込めまして質問させていただきたいんですけど、外国人労働者の雇用におけるいろんな問題が起こったときに、こちらのほうに来られるというふうに向っているのですが、そういった外国人の方々が、年間どれぐらい労働問題を持ち込まれているのか、お教えいただければと思います。

栗本調整課長

外国人の方からの相談でございますが、平成30年度の実績で申しますと、個別の労働関係紛争のあっせんが1件ございまして、労働相談が2件ございます。2件については、同じ方が2回ということでございます。相談者は中国人でございまして、日本語が堪能でございますが、特に支障はございませんでした。

黒崎委員

さほど問題はなかったと取るのか、逆に、いろんな相談所があると思うんですけど、その外国人の方は違う所に行かれているのか、どっちなんだろうと思うんですけど、例えば連合徳島あたりでもそんなことをされていますけど、県内で外国人の方が相談される所は、連合徳島以外にどんな所があるんでしょうか。

栗本調整課長

外国人の労働者向けの相談窓口でございますが、とくしま国際戦略センター、徳島県すだちくんハローワーク、国の労働局がやっております外国人労働者相談コーナー、それから厚生労働省がやっております外国人労働者向け相談ダイヤルなどがございます。

黒崎委員

そういった所に、どれくらいの数の外国人の方が相談に行かれているのかというのは、お分かりになりますか。

栗本調整課長

相談でございますが、データを持ち合わせておりません。申し訳ございません。

黒崎委員

これから外国人労働者のお力を借りなくては、なかなか仕事が進んでいかないような現場というのが増えていくと思うんです。

特に、取りあえず一次産業の現場で如実にそういうふうな状況になっておりまして、連合徳島に伺うと、雇用の問題も、その問題自体、雇用者側の意識を改革していただかなくてはどうにもならないような話があるというふうなことでございますので、徳島県におかれましても、そういうふうな調停の場でいろんな話が出てくると思うんです。そういった問題が出てきたのを、今話を聞きましたら、県内に五、六箇所あるということです。

例えば、こういった関係者が集まって外国人労働者の問題点を相談したり、情報交換したりする機会はあるんでしょうか。

栗本調整課長

各種の相談を行っております関係部局・機関が連携を図るための組織としまして、徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議というのを設置しております。

こういうふうな組織を活用しまして、それぞれ連携を図っているところでございます。年に1回開催をしております。主催については公益財団法人徳島県国際交流協会がやっております。構成については出入国在留管理庁、地方法務局、労働局、県、市町村、弁護士会、司法書士会、医師会など多数が集まっております。

黒崎委員

どういったことが問題になっておるかということは、その時代を反映するものであります。

今、急に質問しましたので、その資料をお持ちではないということでございますが、後日で結構でございますので、その資料を頂戴できればと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

元木委員長

ほかに、質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、労働委員会関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（10時40分）